

議事録

委員会名	中央区消防団運営委員会
日時	令和6年1月19日(金) 9時59分から10時30分まで
場所	東京都中央区築地1丁目1番1号 中央区役所8階 大会議室
諮問事項	変化する社会情勢に適応し特別区消防団の組織力を向上させ住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか
出席者	山本 泰人(中央区長) 三田 芳裕(日本橋防火防災協会会長) 中川 隆(東京臨港防火防災協会会長) 田中 智彦(中央区副区長) 石島 秀起(都議会議員) 太田 太(区議会議員) 青木 かの(区議会議員) 堀田 弥生(区議会議員) 山本 理恵(区議会議員) 梶谷 優香(区議会議員) 小栗 智恵子(区議会議員) 山田 羊一(京橋消防署長) 大木島 実(日本橋消防署長) 内藤 一宏(臨港消防署長) 守本 利雄(京橋消防団長) 志村 榮一(日本橋消防団長) 村山 茂也(臨港消防団長)
欠席者	塩島 義浩(京橋防火防災協会会長)
傍聴者	0人
配布資料	審議資料

議事録	
事務局	開会挨拶
委員 長 区 長	委員長挨拶
日本橋 警防課 長	令和3年度諮問の答申結果について説明
臨港 警防課 長	令和5年度諮問の内容について説明
青木委員	<p>普段消防団が訓練に使用している場所が再開発や交通規制によって使用できなくなっていると思うが、訓練の場所を各分団でどのように確保しているのかを教えてください。</p> <p>また、機能別団員や大規模団員は現状どのような方々が参加しているのか、今後取組みを増やしていく方向性であるのかそれぞれ教えてください。</p>
臨港 警防課 長	<p>訓練場所については各団非常に苦慮している状況であります。臨港消防団においては、臨港消防署の敷地にて訓練を実施しておりますが、他の消防団につきましてはまた改めて確認し、ご説明いたします。</p> <p>機能別団員につきましては、現状、区内の消防団では京橋消防団に2名、臨港消防団に1名所属しております。業務内容としては、式典に対する広報や消防団募集広報などの広報業務に特化している状況です。</p>
山本委員	<p>1月19日から晴海フラッグへの入居が開始しましたが、居住者に対する入団の促進や広報活動はどのように行うのか教えてください。また、晴海フラッグの街開きにより、臨港消防団の活動範囲や定数、活動体制など変化する点があれば教えてください。</p> <p>また、臨港消防署・団の管轄地域にはタワーマンションが非常に多いという特色がありますが、タワーマンションに対する訓練の現状や、いざというときに消防団がどこまで活動することができるのか教えてください。</p>
臨港 警防課 長	<p>入団の促進につきましては、それぞれの対象物に設置してあるデジタルサイネージに募集広報活動などの掲示をさせていただき取組みを管理組合と協議しています。また、晴海ふ頭公園では民間事業者による「晴海でASOBO!sai(あそぼうさい)」という防災に関するイベントが実施されており、そちらにも臨港消防団が参加し、募集広報活動を実施しております。</p> <p>次に、晴海フラッグの街開きによる定数の増については、こちらは現在都条例により定数が100名と定められている状況です。こちらについては検討事項とさせていただければと思います。</p> <p>最後にタワーマンションでの訓練ですが、現時点ではタワーマンションでの消防団単独での訓練は実施しておりません。しかし、災害時には資機材の搬送や避難誘導などの活動にあたっていただきたいと考えています。また、タワーマンションを活用した実践的な訓練についても、来年度訓練計画として前向きに検討したいと思っています。</p>
委員 長 区 長	<p>中央区の人口はこれからも増加し、特にタワーマンションを含めたマンションの居住率が大変高いという特色があります。マンションに居住していることから考えなければならない防災の在り方もあります。今後さらに消防団員の方々の知恵もお借りして、災害時の被害を最小限に収める工夫をしていただきたいと思いますと感じております。</p>
臨港 警防課 長	今後の審議予定について説明
委員 長 区 長	閉会